

余市・小樽における 竹鶴政孝とリタ

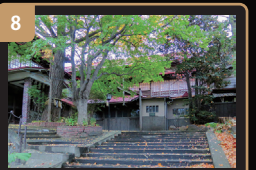




入船市場
(小樽市入船2丁目1-3)
政孝、リタがしばしば食材を買いに訪れていました。観光客よりも地元の客が圧倒的に多く、古くから地元の人に親しまれている市場です。



小樽聖公会
(小樽市東雲町10-15)
リタが礼拝に訪れていた教会。宣教師アン・ステープリーとお茶を飲みながら英語で会話を楽しんでいました。建物は1908(明治41)年建設。小樽市指定歴史的建造物。



海陽亭
(小樽市住吉町4-7)
政孝がしばしば利用していた小樽の老舗料亭。ニッカ会の会場などにも使われていました。建物は1896(明治29)年に降に建設。小樽市指定歴史的建造物。



妙見市場
(小樽市花園2丁目11-1)
政孝、リタがしばしば食材を買いに訪れていました。3棟並んで川の上に建っている市場として知られていましたが、国道側の2棟が取り壊され現在は1棟となりました。



米華堂
(小樽市花園1丁目1-8)
政孝、リタとゆかりがある小樽の老舗洋菓子喫茶店。1928(昭和3)年創業。アップルパイは政孝の好物で、お土産にも持って帰っていたとのこと。



館【現・館ブランシェ】
(小樽市花園1丁目3-2)
政孝、リタとゆかりがある小樽の老舗洋菓子喫茶店。シュークリームは政孝の好物で、「当時は小樽で一番美味しかった」と言われていました。



三角市場
(小樽市稲穂3丁目10-16)
政孝、リタがしばしば食材を買いに訪れていました。1948(昭和23)年頃、露天商が出店し始めたのが始まりで、土地と屋根の形が三角形だったことから名付けられました。



電気館跡
(稲穂2丁目14-14電気館ビル)
リタが映画を観に行っていた当時の小樽で著名な映画館。映画館としての営業は1982(昭和57)年まで。現在もビルの壁面に「電気館ビル」の文字が残っています。



あまとう
(小樽市稲穂2丁目16-18)
リタとゆかりがある小樽の老舗の洋菓子店。本店には喫茶コーナーが併設。1929(昭和4)年創業。クリームゼンざいやマロンコロムなどが人気のお店。



中央市場
(小樽市稲穂3丁目11-2)
政孝、リタがしばしば食材を買いに訪れていました。1956(昭和31)年に現在の鉄筋コンクリート造3階建てになりました。



大和家本店
(小樽市稲穂3丁目4-11)
政孝がよく訪れていた老舗の寿司屋。中央市場のすぐそばにあります。

小樽 政孝・リタゆかりの地



ニッカウヰスキー北海道工場
余市蒸溜所
(余市町黒川町7-6)
工場内には、政孝とリタが住んでいた山田町の邸宅が移築され、一部を見学できます。ウイスキー博物館、試飲ができるニッカ会館もあります。



あゆ見荘
(余市町山田町712)
鮎釣りが好きだった政孝とリタゆかりの店。1960(昭和35)年の開店時に政孝が命名して揮毫した看板があります。



旧竹鶴邸跡
(余市町山田町)
邸宅は2002(平成14)年に工場内へ移築されましたが、門や石蔵などが残っており、竹鶴家の暮らしぶりが偲べれます。



熊の石像とリタロードの由来碑
(余市駅前)
余市駅前にはウイスキーボトルを抱いた熊の石像、リタロードの由来を記載した碑があります。



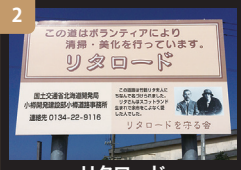
余市運動公園・顕徳碑
(余市町入舟町420)
政孝は余市のスポーツ振興に熱心で、運動公園の設立に尽力しました。運動公園の野球場入口手前には功績を称えた石碑があります。



竹鶴政孝とリタの墓
(余市町美園町)
リタが亡くなった後、政孝はリタと自分の名前を刻んだ墓石を建てました。小高い丘の上にある墓地から余市の街と蒸溜所を一望できます。*観光客の見学はご遠慮ください。



旧かねまた服部旅館
(余市町大川町4-59)
政孝が工場建設の事前調査に来ていた時に宿泊していた旅館。現在は営業しておらず、建物は改築されたものです。



リタロード
(余市駅前～余市町役場前)
余市駅から余市町役場前までの約1.3km。1988(昭和63)年、余市町がリタの故郷スコットランドのイースト・ダンバートンシャイアと姉妹都市提携したことを契機に整備が始められました。



リタ幼稚園
(余市町黒川町1-17)
リタが死去した際に日本基督教団余市教会が葬儀を行ったことを契機に、政孝がリタの遺産の一部を園舎の建築費として寄付。1962(昭和37)年に余市幼稚園から改名しました。



竹鶴シャンツェ
(余市町沢町68-1)
政孝が、1941(昭和16)年に当時の余市高校校長に依頼されて寄贈したジャンプ台。設計は小樽市の秋野武夫氏が担当しました。



余市 政孝・リタゆかりの地

まえがき

竹鶴政孝とリタは、日本のウイスキーの創始者として名高く、二〇一四（平成二六）年には、朝の連続テレビ小説「マッサン」のモデルとなり、あらためて注目を集めています。

しかし、二人がニッカウキスキー創業の地、余市町でどのような暮らしを営んでいたのか、隣接する都市、小樽へ仕事や買い物、娯楽のため頻繁に訪れていたことはほとんど知られていません。

小樽商科大学では、文部科学省の地（知）の拠点整備事業の一環として、余市と小樽での竹鶴夫妻の暮らし、ゆかりの場所などについて調査研究を行いました。また、「マッサン」を通じた地域活性化の様々な取り組みを行っています。この冊子では、調査研究の成果をまとめた展示パネルを中心に、商大の取り組みを紹介しています。

竹鶴夫妻は、故郷を離れ、新たな土地で、新たな故郷を創り上げていった人物として、移住者が集まる余市や小樽、北海道の歴史を象徴していると言えます。ドラマ放送期間中の一過性のブームではなく、二人が、地域の歴史に欠かせない人物として位置づけられることを願っています。

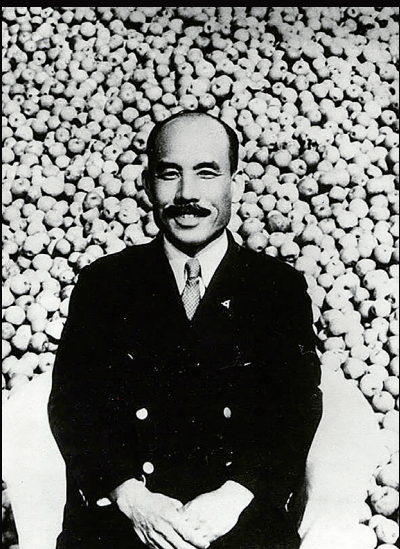
目次

余市と小樽の竹鶴夫妻ゆかりの地マップ	一〇二頁
一、理想のウイスキーを求めて余市へ	四頁
二、余市での二人の暮らし	五頁
三、竹鶴家の食卓	六頁
四、小樽での政孝とリタの足跡	七頁
五、リタと小樽聖公会	八頁
六、リタを支えた女子会	九頁
七、リタの手紙	一〇頁
八、リタ幼稚園の誕生	一一頁
九、年譜	一二頁
小樽商科大学の取り組み	一三～一六頁

理想のウイスキーづくりを 求めて余市へ

一九三四（昭和九）年七月、四〇歳になろうとしていた政孝は、理想のウイスキーづくりを追求するため、大阪の寿屋を退職して北海道に渡り、大日本果汁株式会社を設立しました。余市は、清らかな水が豊富なこと、近くでピート（草炭）が採れること、夏も冷涼で湿度があること、出荷のための交通の便が良いことなど、ウイスキーづくりに適しており、気候風土がリタの故郷スコットランドによく似た、理想の地でした。

同年一〇月、余市に工場を建設すると、ウイスキーを販売できるまでの間、収入確保のためリンゴジュースの製造を始めます。翌三五年五月には「ニッカ林檎汁」を発売しますが、売れ行きは思わしくありませんでした。その後、「アップルゼリー」や「アップルワイン」等を次々に発売するなか、四〇年に記念すべき第一号「ニッカウキスキー」が発売されました。馬車で出荷される「ニッカウキスキー」を政孝と全ての従業員は並んで見送りました。



余市工場に山積みされたリンゴを背にする政孝 <アサヒビール蔵>



余市工場 工場内にリンゴがあふれています。<個人蔵>



第一号「ニッカウキスキー」



戦時期の大日本果汁株式会社社員の集合写真。中央は政孝。戦時中も白いスーツを着ていました。<個人蔵>



余市工場からバスで運搬される「ニッカ林檎汁」 <アサヒビール蔵>

リタの直筆レシピノート記載メニュー

1. サンドウィッチ・ケーキ - Sandwich Cake
2. ロック・ケーキ - Rock Cakes
3. スレッドメアー・ジンジャーブレッド - Sledmere Gingerbread
4. スポンジ・ケーキ - Sponge Cake
5. ガードル・スコーン - Girdle Scones
6. ドライ・アプリコット・ジャム - Dried Apricot Jam
7. マーマレード - Marmalade
8. ドロップド・スコーン - Dropped Scones
9. クリームケーキ - Cream Cakes
10. 男爵ケーキ - Bachelors Cake
11. プラム・プディング - Plum Pudding
12. チャツネ - Chutney
13. マデira・ケーキ - Madeira Cake
14. プレーン・ケーキ - Plain Cake
15. ブラウン・プディング - Brown Pudding
16. プレーン・ショートブレッド - Plain Shotbread
17. サラダ・ドレッシング - Salad dressing
18. ルイズ・ケーキ - Louise Cakes
19. サルタナ・ケーキ - Sultana Cake
20. バイナップル・プディング - Pineapple Pudding
21. レモン・スポンジ - Lemon Sponge
22. ココナッツ・フロスティング - Coconut Frosting
23. スノー・プディング - Snow Pudding
24. ココナッツ・マシュマロ・ケーキ - Coconut Marshmallow Cake
25. コーヒー・カーニバル - Coffee Carnival
26. タピオカ・クリーム - Tapioca Cream
27. アプリコット・クリーム - Apricot Cream
28. ジンジャー・ドロップ・ケーキ - Ginger Drop Cakes
29. スイス・ロール・ケーキ - Swiss Roll
30. プレーン・ペイストリー - Plain Pastry
31. フレーキー・ペイストリー - Fleky Pastry
32. マーマレード - Mar-me-laid
33. ワー・クリーム - War Cream



リタの直筆レシピノート。ケーキやプディング等、33品目のレシピが記載されている。〈ウイスキー博物館蔵〉



リタの持っていた料理本
〈ウイスキー博物館蔵〉



リタは食材や食器の並べ方、切り方にこだわりのありました(元竹鶴家家事見習いの方による再現)。左からポテトサラダ、扇形に並べた焼きのネギ、美しくカットしたフルーツ。



蘭島の浜辺 リタと孫・孝太郎
〈個人蔵〉



笑顔のリタ(旧竹鶴邸の窓)
〈個人蔵〉



竹鶴邸の庭(山田町 1985年撮影)たくさんの花で彩られており、二人が暮らしていた当時の様子が伺えます。〈個人蔵〉



釣り上げた魚と政孝
〈アサヒビール蔵〉



ユニフォーム姿の政孝
〈アサヒビール蔵〉



海辺での政孝とリタ〈アサヒビール蔵〉

余市での 政孝とリタの暮らし

一九三五(昭和一〇)年九月、リタが鎌倉から余市へ来ると、工場敷地内に家を建て、余市での生活を始めました。政孝は、仕事とともに遊びにも熱心で多趣味でした。謡と鼓、囲碁、麻雀、釣り、柔道、剣道、野球、テニス、乗馬、冬はスキー、春先は熊撃ちと、一年中様々なスポーツを満喫していました。リタも乗馬や釣り、海水浴などを楽しんでいました。

戦争中、リタは「敵国人」と見なされ苦しい時期を過ごすことになり、特高警察に監視される日々が続きました。そんな中、一九四三年に政孝の姉の子・威(たけし)を養子に迎え、終戦後の四五年一二月から余市で一緒に暮らし始めると、竹鶴家は賑やかになりました。工場内から山田町に転居して間もなく、威は五一年に小樽出身の井上歌子と結婚します。政孝は仕事で不在が続きましたが、五三年に長男孝太郎、五五年に長女みづぶが生まれると、リタは威夫妻や孫たちと団らんの日々を過ごしました。

【参考文献】

- ・『竹鶴リタ物語 日本のウイスキーと結婚したスコット・レディ』(ニッカウエスキー株式会社 一九八五年)
- ・竹鶴孝太郎『ウイスキーとダンディズム 祖父・竹鶴政孝の美意識と暮らし方』(角川書店 二〇一四年)

竹鶴家の食卓

リタは、竹鶴家の食事をほとんど自分で作っており、政孝が好む和食から故郷の英国料理まで、様々なメニューを自分なりに工夫していました。朝食は、トーストとミルクティーに料理が付く英国風で、トーストにつけるジャムは家の庭や畑で採れるイチゴやカラント、リンゴで手作りしたものでした。

和食は寿屋の山崎工場の賄いをしていた人から習い、ご飯や味噌汁、漬物、がんもどきの作り方まで身に付けたといいます。余市ではサケやタラ、ニシン、毛ガニなどの海産物、様々な山菜が食卓を賑わせました。北海道では冬の保存食として漬物が重要で、沢庵漬けを好んだ政孝のために、四斗樽や二斗樽で三百本以上の大根を漬けており、梅干しやイカの塩辛、ホヤやナマコの酢の物も作っていました。政孝が不在の日は、ローストビーフ、コテージパイなどの英国料理が中心となり、クリスマスにはデイナーの後に数ヶ月前から準備していたプディング・ケーキが出されました。

【参考文献】

- ・竹鶴孝太郎『ウイスキーとダンディズム 祖父・竹鶴政孝の美意識と暮らし方』(角川書店 二〇一四年)



小樽聖公会(内部)



小樽聖公会(外観)



小樽聖公会(内部)



宣教師 アン・ステープリー
＜小樽聖公会蔵＞



↑電気館 1914(大正3)年に活動写真館として開館。リタはしばしば映画を観に来ていました。小樽の映画館は昭和30年代に急激に増加し、23館に達しました。
＜小樽市総合博物館蔵＞



花園銀座街の賑わい(昭和初期) 絵葉書＜小樽市総合博物館蔵＞

中央市場→
1956(昭和31)年に鉄筋コンクリート造の建物になる前の内部の様子。政孝は食材を買いに訪れていました。＜小樽中央市場共同組合蔵＞



米華堂 政孝、リタが訪れていた喫茶・洋菓子店。政孝はアップルパイが好物で、お土産に持って帰ることもあり。＜米華堂蔵＞



館 リタは同店の紅茶を好んでいました。政孝は、当時「小樽で一番美味しい」と言われていたシュークリームが好物でした。＜館ブランド蔵＞

小樽での 政孝とリタの足跡

政孝とリタが余市で暮らしていた昭和初期から昭和三〇年代頃にかけて、小樽は活気あふれる大都会であり、二人は仕事や買い物などでよく訪れていました。政孝は取引先の住友銀行小樽支店を訪れた際や、札幌方面からの帰りに小樽に立ち寄っていました。中央市場や三角市場、妙見市場、入船市場などで買い物をし、小樽の老舗喫茶・洋菓子店、米華堂、館(やかた)、あまとうでくつろぎ、大和屋などのお寿司屋さんで食事を楽しんでいました。

リタは同じ宗派である小樽聖公会をしばしば訪れており、礼拝後、宣教師アン・ステープリーとお茶を飲みながら長時間英語で会話していました。また、小樽高等商業学校(現・小樽商科大学)の外国人教師・太黒マチルドとも親しく交流しており、友人たちと一緒に、当時小樽で最大の売場面積を誇った百貨店・丸井今井などで買い物をしていました。リタは小樽でパーマをかけていました。当時の小樽は、余市や周辺地域に暮らす人たちにとって、モダンな都市文化を享受できる魅力的な街でした。

リタと小樽聖公会

英語で話せる友人、アン・ステープリーとの交流

リタは、同じ宗派である小樽聖公会にしばしば通っていました。教会堂改築基金の寄付金台帳には、小樽の名士で同教会の信徒であった坂半直太郎とともに、リタと思われる人物が記載されています。同教会のイギリス人の宣教師アン・ステープリー(一八九八〜一九六三)は、リタにとって英語で会話ができた貴重な友人でした。礼拝後に長時間お茶を飲みながら会話したり、余市の竹鶴邸に招待していました。ステープリーは、リタが余市に来た一九三五(昭和一〇)年、小樽聖公会に派遣されました。戦争が激しさを増す一九四〇年に帰英しますが、一九四九年に再び帰任。一九六〇年に退職するまで長期間リタと交流がありました。

小樽聖公会は、水天宮の丘の中腹に小樽の街を見下ろすように建てられています。木造ゴシック様式の聖堂は、一九〇八(明治四一)年に建設されたもので、一九九一(平成三)年に小樽市指定歴史的建造物(第二八号)に指定。礼拝堂の長椅子をはじめ多くの調度品が建設当時の面影をとどめています。

リタから竹鶴康子宛の手紙（和訳）

北海道余市町山田村329
1955年3月7日

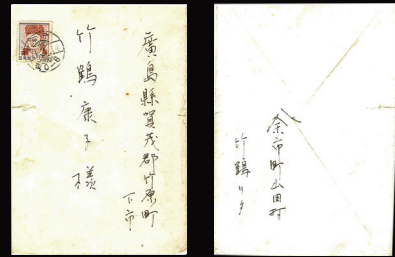
親愛なる康子さん

お手紙と素敵なお可愛い仔犬をありがとう。良い犬に育てられたことと思っています。孝太郎は私の部屋に来ると、「かわいい、かわいい」と言います。犬は私の大好きな動物です。今は犬が三四います。二匹の小さな犬は私の部屋にいます。一匹の大きな犬は、裏口にいます。大きな犬はアイヌの犬で、稀にしかいない犬種なので、とても貴重です。名前はアイキと言います。私の部屋にいる犬はとても小さく、一匹は「チビ(tiny)」もう一匹は「ピカ(twinkle)」と呼んでいます。私の部屋には、他に一羽のカナリヤと一匹の亀がいます。体長わずか1インチの小さな亀です。冬は眠っていて、春に目を覚まします。

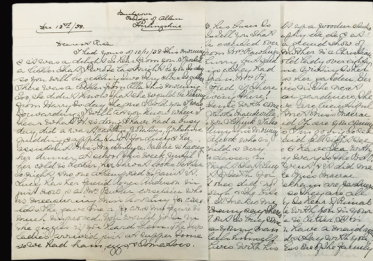
孝太郎も動物が大好きで、朝家来ると「これはピコ」「これはチビ」「これはピカ」「これは亀」と言います。カナリヤはピコと呼びます。孝太郎は日本語を話します。この家では誰も英語を話しません。政孝さんが帰ってくると、彼は英語が上手なので私と彼はときどき英語で話します。政孝さんは1月19日以来帰ってきていないので、長い間会っていません。孝太郎は毎日雪の中で遊び、時には構に座って、犬と一緒に雪の上を走ります。

昨日は威の誕生日で、誕生ケーキを作りました。ケーキの周りには31本のローソクが灯り、孝太郎は一度にそんなにたくさん灯ったので、とても喜んでいました。このあたりで書くのをやめにします。暖かくなるので身体には良いと思います。お母様によろしくお伝えください。あなたの写真をいただき、良かったです。机の上に立てています。犬をありがとう。どうかお元気で。

敬具 ジェシー・ロベール・竹鶴より



リタから竹鶴康子宛の手紙(封筒)〈個人蔵〉



スコットランドの実家からリタ宛に送られた手紙
〈ニッカウヰスキー蔵〉



右端はリタの母ロビーナ 〈ニッカウヰスキー蔵〉



太黒マチルド 〈個人蔵〉



ピアノの前でくつろぐリタ 〈個人蔵〉



太黒邸前(札幌)での集合写真。左から、和子(マチルド長女)、和子の長女、マチルド、芳子(マチルド次女)、リタ、リマ。



リンゴ園での集合写真。後列左から、マチルド、北星学園女子短期大学初代学長のエバンス、リタ、リマ。前列の女性は同短大教師のホーンバーガー。〈個人蔵〉

リタを支えた「女子会」

太黒マチルドとの交流

リタは、国際結婚した女性などの友人たちと余市や小樽、札幌で、いまで言う「女子会」的な交流を行っていました。なかでも、小樽高等商業学校(現：小樽商科大学)の外国人教師・太黒マチルドとは親しく、リタや養女のリマ、他の友人たちと撮影した多数の写真が残されており、当時の様子をいまに伝えていきます。

太黒マチルド(一九〇二〜一九七五)は、フランス生まれで、一九二二(大正一〇)年に当時パリ留学中だった太黒薫(北海道帝国大学医学部教授。のちに札幌で太黒胃腸病院を開院)と結婚し、翌年から札幌で生活を始めました。一九三二(昭和六)年には、小樽高等商業学校のフランス語講師となっています。リタは六歳年上ですが、政孝との結婚はマチルドと同時期の一九二〇年。北海道で生活するという共通点がありました。マチルドとリタは、戦前・戦中・戦後を通して家族ぐるみの交流を行っており、戦時中、「敵国人」とみなされて辛い時期を過ごしたことは、二人の絆をより深いものにしたと思われるます。

リタの手紙

リタとスコットランドの実家や竹鶴家の人たちとの手紙のやりとりから、当時の竹鶴家の生活の一端がうかがえます。実家からの手紙は、一九三八(昭和二三)年七月から五五年一月まで九〇通残されており、妹ルーシーからの一通以外は全て母ロビーナからの手紙です。多いときは年に二三通、平均五〜六通届いており、定期的に近況を知らせ合っていました。便箋の表裏にびっしりと書かれた手紙のほとんどはリタを気遣う内容となっています。太平洋戦争直前の四一年九月から四七年三月までは六年近く手紙が途絶えています。

竹鶴康子(一九三七〜)は、竹鶴本家の竹鶴壽夫(竹鶴酒造株式会社・代表取締役)の実姉で、高校時代にリタと英語で文通していました。五五年二月〜八月にかけての手紙から余市や逗子で暮らすリタの様子がうかがえます。自らの体調や、余市で飼っていた三匹の犬、カナリア、亀のこと。政孝が多忙で余市になかなか戻れないこと、養子の威(たけし)や孫の孝太郎と暮らす日々などが綴られています。

竹鶴政孝・リタ 年譜

西暦	和暦	月	出 来 事	政孝	リタ
1894	明治27	6	竹鶴政孝、広島県竹原市竹原町に造り酒屋の三男として生まれる	0歳	
1896	明治29	12	リタ（ジェシー・ロペールタ・カウン）、スコットランドのグラスゴー郊外のカーカンテロフの開業医カウン家の長女として生まれる		0歳
1916	大正 5	3	政孝、大阪高等工業学校醸造課を卒業。摂津酒造に入社	22歳	
1918	大正 7	7	政孝、イギリス留学へ出発。サンフランシスコに入港	24歳	22歳
		12	政孝、リヴァプール着。グラスゴーへ。この頃リタの妹・エラと知り合う		
1919	大正 8		政孝とリタ、この頃出会う	25歳	23歳
		12	クリスマスにカウン家のテーブルでプディング占いを行う		
1920	大正 9	1	8日 政孝とリタ、結婚。キャンベルタウンで生活を開始	26歳	24歳
		11	政孝とリタ、日本に帰国。大阪市姫松（帝塚山）に居住		
1921	大正10		「本格モルトウイスキー醸造計画書」否認。リタ、大阪樟蔭高等女学校で英語教師に。	27歳	25歳
1922	大正11		政孝、摂津酒造を退社 桃山中学校（現・桃山学院高等学校）で化学の教員に	28歳	26歳
		9	リタ、桃山中学校と帝塚山学院で英語教師に		
1923	大正12	6	政孝、寿屋（のちのサントリー）にウイスキー蒸溜技師として入社	29歳	27歳
1924	大正13	11	寿屋の山崎蒸溜所完成 政孝は初代工場長となる	30歳	28歳
1925	大正14		政孝、欧州視察 リタ、スコットランドの実家に帰省	31歳	29歳
1929	昭和 4	4	寿屋が日本初の本格ウイスキー「サントリー白札」発売	35歳	33歳
1931	昭和 6	4	房子を養女とする（前年に誕生。のちにリマと改名）	37歳	35歳
		8	政孝、スコットランド視察 リタ、リマを連れて実家へ帰省		
1934	昭和 9	3	政孝、寿屋を退社	39歳	38歳
北 海 道 時 代					
1934	昭和 9	7	政孝、大日本果汁株式会社を設立	40歳	
		10	余市工場、完成		
1935	昭和10	5	「ニッカ林檎汁」発売	41歳	39歳
		9	リタとリマ、余市へ移住		
1936	昭和11	7	本店を余市へ移転 東京営業所を設置	42歳	40歳
1937	昭和12	10	「アップルゼリー」「グーズベリーゼリー」「アップルソース」などを製造・販売	43歳	41歳
1938	昭和13	9	「ニッカ・アップルワイン」発売	44歳	42歳
1940	昭和15	10	余市で製造した初のウイスキー「ニッカウヰスキー」と「ニッカブランデー」発売	46歳	44歳
1943	昭和18	11	政孝、大日本果汁株式会社の代表取締役社長に就任	49歳	47歳
		5	政孝の甥の威（たけし）を養子に迎える		
1948	昭和23		政孝とリタ、この頃山田町に転居（昭和21～24年、邸宅を新築）	54歳	52歳
1951	昭和26	6	威、井上歌子（実家は小樽）と結婚	57歳	55歳
1952	昭和27	4	本社を余市から東京日本橋に移転	58歳	56歳
		8	大日本果汁株式会社から、ニッカウヰスキー株式会社に社名変更		
1953	昭和28	1	威・歌子夫妻に長男孝太郎、誕生	59歳	57歳
1955	昭和30	10	威・歌子夫妻に長女みのぶ、誕生	61歳	59歳
			リタ、逗子の家から週1回築地の聖路加病院へ通院（冬期は逗子、夏期は余市で生活）		
1956	昭和31	5	リタ、札幌の天使病院に3週間入院	62歳	60歳
		12	リタ、結核で小樽病院に入院		
1957	昭和32	10	リタ、聖路加病院に入院	63歳	61歳
1959	昭和34	5	リタの妹・ルーシーが来日	65歳	63歳
		7	余市蒸溜所に政孝の胸像が建てられる		
1961	昭和36	1	17日 リタ、64歳で死去 自宅にて葬儀	67歳	64歳
1962	昭和37	6	リタと政孝の墓碑建立	68歳	
		8	余市幼稚園、リタ幼稚園に名称変更		
1963	昭和38	3	政孝、北海道開発長官表彰	69歳	
1965	昭和40	2	政孝、余市町の名誉町民となる	71歳	
1970	昭和45	9	政孝、北海道開発功労章授与	76歳	
1979	昭和54	8	29日 政孝、順天堂大学附属病院にて、85歳で死去 通夜・密葬は世田谷の日本聖公会東京三一教会、本葬は青山葬儀所	85歳	
		9	20日 余市町葬		
1988	昭和63		リタロードの整備がはじまる		
2014	平成26	9	政孝とリタをモデルとした、NHK連続テレビ小説「マッサン」放映開始（～2015年3月）		
			政孝生誕120周年 ニッカウヰスキー創業80周年		

【参考文献】オリヴ・チェックランド著、和気洋子訳『マッサンとリタ ジャパニーズ・ウイスキーの誕生』（NHK出版2014年、原著1998年）
竹鶴孝太郎『ウイスキーとダンディズム 祖父・竹鶴政孝の美意識と暮らし方』（角川書店2014年）



リタ幼稚園の運動会。ニッカウヰスキーのテントが見える。<リタ幼稚園蔵>



通園バス <リタ幼稚園蔵>



リタ幼稚園の園舎・教会堂（1962年建設）
<リタ幼稚園蔵>



リタの葬儀 <個人蔵>

リタ幼稚園の誕生

一九六一（昭和三六）年一月一七日の早朝、リタが六四歳で亡くなると、養子・威（たけし）は日本基督教団・余市教会の吉岡一牧師を訪問し、リタの葬儀の司式を依頼しました。竹鶴家での葬儀の後、政孝の側近は謝礼を相談しましたが、吉岡牧師は受取を辞退したため、当時、幼稚園の園舎と教会堂の建設資金を援助することになりました。

余市教会では五〇年に余市幼稚園を開設しましたが、施設は不十分で、五四年には洞爺丸台風で破損。資金難で補修ができないままでした。苦境を知った政孝は、リタがスコットランドの実家から受け取った遺産から建設資金の寄付を申し出ました。この話が町中に広がると、住民有志が「幼稚園誘致期成会」を結成して募金を行い、政孝からの寄付一二〇万円と合わせて七二〇万円が集まりました。六二年八月二二日、リタが好んだ余市川のほとりに園舎・教会堂が新築され、献堂式が行われました。リタの名前を掲げた幼稚園は余市の住民にリタの記憶を今に伝えています。

小樽商科大学の取り組み

【研究プロジェクト】

- ・余市町における観光を主軸とした地域経済活性化に関する調査・研究（平成二六年度COC地域志向研究助成事業）
- ・食を通じた後志の観光戦略プラン策定（平成二六年度COC地域志向研究助成事業）

・小樽を中心とした後志地域におけるヒューマンストーリーを活用した新たな観光資源の開発（平成二六年度COC地域志向教育助成事業）

【マジプロ「コンテンツツリーリズムの推進」チーム】

- ・余市町観光プロモーションビデオ・マップ「良い地めぐり」制作
- ・Facebook「マッサン応援推進協議会」運営
- ・朝ドラリレー（協力：山梨県立大学）
- ・ブディングケーキ商品化（協力：ル・キャトリエム）
- ・「良い知だヨ！全員集合 小樽商大特別講義 余市編」（二〇一四年二月六日、於：余市宇宙記念館）

【モニターツアー】

- ・しりべし酒と肴ツアー「竹鶴政孝&リタの愛した世界をハートと味覚で感じる旅」（二〇一五年三月七日、主催：コープさっぽろ、協力：北海道後志総合振興局、小樽商科大学・地（知）の拠点整備事業）

【シャッターアート制作プロジェクト】

- ・余市観光協会シャッターアート（二〇一四年九月～十一月、制作：美術サークルメロコトン）

- ・NHK総合「ほっとニュース北海道」（二〇一四年十一月一七日、出演：マジプロ学生、制作協力）

- ・FMおたる「木曜くつろぎ運河通り」（二〇一四年二月四日、出演：マジプロ学生）

- ・NHK総合「北海道スペシャル 私が見たマッサン」（二〇一五年一月九日、制作協力）

- ・FMおたる「ラジ友！ ヒューマンネットワーク」（二〇一五年一月九日、出演）
- ・NHK総合「マッサン紀行（全二〇回）」（二〇一五年一月～、制作協力）

- ・FMノースウェーブ「I'm HOME」（二〇一五年二月二六日、出演：マジプロ学生）

- ・NHK総合「ひるブラ ようこそ！マッサン☆モデルの舞台へ」北海道余市町」（二〇一五年二月一日、制作協力）

- ・BS11「とことん歴史紀行」マッサンとリタ いま明かされる愛の物語 小樽・余市」（二〇一五年二月一三日、出演：制作協力）

- ・NHK総合「土曜スタジオパーク in 北海道」（二〇一五年二月二一日放送、出演：マジプロ学生）

【講演・シンポジウムなど】

- ・民間協働週間セミナー（二〇一四年一〇月一四日、於：北海道庁道民ホール、主催：北海道 講演：高野宏康）
- ・おたる案内人まちかど教室（二〇一五年一月一四日、主催：小樽観光大学校、於：小樽市民センター会議室、講演：高野宏康）
- ・はつらつ講座「新ふるさと紀行」（二〇一五年二月五日、主催：小樽市生涯学習プラザ、講演：高野宏康）
- ・小樽ロータリークラブ例会（二〇一五年二月一〇日、主催：小樽ロータリークラブ、講演：高野宏康、於：グランドパーク小樽）
- ・COCプロジェクト勉強会（二〇一五年三月二日、主催：小樽商科大学、於：余市町役場、講演：西山茂、加藤敬太、高野宏康）

【おたる・よいちご当地ハイボールプロジェクト】

- ・ご当地ハイボールレシビコンテスト（二〇一四年七月十八日、於：運河プラザ、後援：小樽商科大学、ビジネス創造センター、最優秀賞：荒谷沙織）
- ・「おたる・よいちご当地ハイボールクレインズブーケ提供店マップ」（二〇一五年一月、制作協力：監修：小樽商科大学・地（知）の拠点整備事業）

【各種イベント】

- ・講演会&パネル展「竹鶴政孝とリタ」ウイスキーにかけた人生」（二〇一四年一月八日、於：市立小樽図書館、主催：竹鶴政孝・リタ講演会&パネル展実行委員会、共催：小樽商科大学・地（知）の拠点整備事業）

- ・NHKハートプロジェクト「HAPPY BIRTHDAY RITA」リタさん誕生日スペシャルDay」（二〇一四年二月一四日、於：さっぽろ地下街オーロラタウン オーロラスクエア、出演：マジプロ学生、協力：小樽商科大学・地（知）の拠点整備事業）

- ・大北海道展（二〇一五年二月四日～九日、於：新宿伊勢丹、ブディングケーキPR）

【番組出演・制作協力】

- ・NHK総合「北海道スペシャル 放送直前！さきどり「マッサン」徹底ガイド」（二〇一四年九月二六日、出演：制作協力）

- ・FMおたる「後志偉人伝」（二〇一四年一〇月～、出演）

- ・NHK総合「つながる@きたカフェ 元氣ドリッパ」（二〇一四年一〇月二七日、出演：制作協力）

- ・NHK総合「ほっとニュース北海道」（二〇一四年一〇月三十一日、制作協力）

- ・市民のための「心の健康セミナー」（二〇一五年三月四日、主催：小樽市精神保険協会、講演：高野宏康）

- ・進化経済学会北海道大会（二〇一五年三月二一日、報告：高野宏康）

- ・平成二六年度小樽商科大学COC事業成果報告会（二〇一五年三月二四日、於：後志総合振興局、報告：高野宏康）

- ・小樽商科大学COCシンポジウム『マッサン』後の広域観光を考える」（二〇一五年三月二九日、於：余市中央公民館、主催：小樽商科大学ビジネス創造センター）

【パネル展・余市・小樽における竹鶴政孝とリタ】

- ・市立小樽図書館（二〇一四年一月八日～二二日）

- ・よいち情報館（二〇一四年一月二二日～、パネルデータ提供）

- ・小樽商科大学附属図書館（二〇一四年一月二五日～二月四日）

- ・「良い知だヨ！全員集合 小樽商大特別講義 余市編」（二〇一四年二月六日、於：余市宇宙記念館）

- ・NHKハートプロジェクト「HAPPY BIRTHDAY RITA」リタさん誕生日スペシャルDay」（二〇一四年二月一四日、於：さっぽろ地下街オーロラタウン オーロラスクエア）

- ・朝里クラッセホテル（二〇一四年二月二〇日～二〇一五年一月八日）

- ・後志総合振興局（二〇一五年一月二三日～一六日、於：後志合同庁舎）

- ・小樽スイーツフェスタ二〇一五（二〇一五年二月一三日～一五日、於：ウイングベイ小樽・五番街一階）

- ・雪あかりの路（二〇一五年二月一三日～一五日、於：市立小樽美術館）

- ・市民のためのこころの健康セミナー（二〇一五年三月四日、於：小樽経済センター七階大ホール）

- ・JR小樽駅（二〇一五年三月二〇日～二九日、於：JR小樽駅）

*二〇一五年三月現在

小樽商科大学の活動記録



良い知だヨ！全員集合



シャッターアート



北海道物産展



プディングケーキ完成



プディングケーキ実物



リタさん誕生日イベント



パネル展



クレインズブーケ
考案者：荒谷 沙織さん



ご当地ハイボール
クレインズブーケ



おたる・よいち
ご当地ハイボール
提供店



エリーパベット

マッサン応援推進協議会
(Facebook)



<https://www.facebook.com/massanyoichi>

良い知めぐり
(YouTube)



<http://goo.gl/bsy3Mk>

国立大学法人小樽商科大学  地(知)の拠点

〒047-0851 北海道小樽市緑3丁目5番21号 Tel: 0134-27-5482 Fax: 0134-27-5483
HP URL: <http://www.otaru-uc.ac.jp> E-mail: kikaku@office.otaru-uc.ac.jp

2015年3月発行